



嶋川武秀の ひとつになろう!



私、嶋川武秀のチラシに毎度目を通してくださり、誠にありがとうございます。4月にスタートを切った活動も、いよいよ佳境に入ってまいりました。皆々様のご支援を賜り、初めての挑戦にも関わらず、非常に幅広い活動、多くの経験をさせていただいております。

今回、チラシの表面には、「ひとつになろう!」の言葉を大きく掲げさせていただきました。以前から申し上げてますが、分裂し、相手を敵視したところで、誰も得をしないどころか、高岡市全体が停滞、凋落することにつながりかねません。今こそ、我々全員が持つ「高岡愛」という共通のアイデンティティを掲げ、高岡市のために、全市で、全市民で、一丸となって協力と連携の機運を盛り上げようではありませんか!

私にぜひ、そのきっかけづくりをさせてください。私の活動が、これまで政治に興味を持たなかった、あるいは悪いイメージしか持ち得なかった方々の視点を変え、興味はあっても一歩踏み出せなかった方々の背中を押し、市民の皆さんには政治の力で街が良くなるということを実感していただくべく、全身全霊で努力いたします。高岡市に嶋川ありと言われるようになるまで、笑顔を絶やさず、常に皆様のお声を聞き、市外、県外からも見識を取り入れ、政策を磨き、前に進みます。

高岡を取り残さない。高岡を更に素晴らしい街へ。私たちの胸には、市民以外には持つことができない、

高岡愛 があります。さあ、今こそ、高岡市は、ひとつになろう!



嶋川 武秀



高岡市の魅力を発信できるのは私だ!

先日、高岡市の果物を、関東圏のラジオ番組で紹介したところ、即完売するという嬉しい出来事がありました。持ち前の明るさと、「嶋川節」で紹介したことが、完売につながったとお褒めいただきました。魅力あるものを、私の言葉と表現力でより魅力的に見せることができるのは、表現者として歩んできた経験の賜物です。高岡市の食べ物や観光など、身近なところから親しんでいただき、就業・移住にまでつながるよう、メディアや各地の関係者を通じて、この街の素晴らしさをPRしてまいります。



不妊治療に悩まない

夫婦の選択を応援する機運醸成

子供を持ちたいと考えている夫婦の選択肢として、まず不妊治療の心理的・経済的ハードルを下げるべきと考えます。妊娠出産には年齢的なりミットがあることを理解し、少しでも早く、抵抗なく治療を始めるために、心身と時間的負担の大きい女性への支援が必要です。仕事を休みやすい、相談窓口がある、差別されないと、当たり前のことが充分に理解・整備されれば、子育て世代や介護世代にも汎用できます。前政権が不妊治療を保険適用にし、国としても前向きに取り組んでいる今、高岡市でも積極的に取り組みたいと、経験者として強く思います。



子供にこそ「高岡愛」を!

文化と歴史再発見で誇り高き高岡市を取り戻す

小さい頃、祖父母や両親から、高岡市の歴史について、また街の隆盛について何度も話を聞かされました。頑張ってきた土地、立派な高岡の街が、子供心に誇らしく、長じてからは地元の役に立ちたいと強く願うようになり、今こうして高岡に戻り活動しています。上の世代から実感を伴った話を聞く機会が減っている現在こそ、お祭りへの参加を推進したり、郷土の歴史教育の時間を意識的に増やすことで、高岡愛を育みます。その愛を胸に、地元や世界で活躍する若者が増え、高岡市のスポーツマンにもなると確信しています。



防災士を増やそう

もしもの災害に即応できる地域の力

東日本大震災を福島で経験した者として、避難の初動対応の大切さを痛感しています。防災士が各地域に一人いれば、避難所での初動指揮が取れるので、現場の混乱を減らせます。富山県は、北陸3県の中で防災士の人口比率が一番低く、他県水準を達成するには、高岡市にはあと1,000人が必要です。もしもの災害時に慌てないためにも、防災士資格を持った地域住民の増員は必須です。私も資格取得試験にチャレンジ中です!



交通網の利便性向上

街に出たいけど出られない!を解消

人口減少と財源不足に大きく影響される交通網の問題は、大都市圏を除いて各地で緊急の課題となっています。先年、高岡市のコミュニティバスも廃止されましたが、それに代わる移動手段を、県内の先行事例(デマンド交通、乗り合いタクシーなど)から検討し、後発だからこそできる良いことどりの「高岡モデル」の交通網を提唱してまいります。名付けて「いこまいカー」!大型バスからワンボックスカーや一般の乗用車まで、あらゆる手段を検討の俎上に載せ、実証実験を行い、住民の声を反映させた最適な交通網を目指します。



嶋川武秀活動報告会

詳細はお問い合わせください。

嶋川武秀後援会事務所

0766-22-1510



嶋川武秀後援会事務所

〒933-0935 高岡市博労本町3-22 ☎ 0766-22-1510

● 今すぐチェック

後援会討議資料

